

くまがや自治連だより

ひるば

第14号

平成 25 年 10 月発行

地域活動に想う

熊谷市自治会連合会副会長

宗我部 悦功

「納涼祭」も終わり夕陽の赤みが増すこの頃です。自治会の活動も後半に向かい「敬老会」「体育祭」「防災訓練」「ごみゼロ運動」と矢継ぎ早にやっています。

敬老会は年々一割程度の方々が対象者として増加の傾向にあります。私の住む籠原小学校校区では、児童の数を大幅に超える890余名の方々が対象になりました。

体育祭では、少子高齢化を反映して保・幼稚園児の参加者が少ない傾向にあります。防災訓練では、回数を重ねたことや東日本大震災・各地の土砂災害で訓練の有効性が評価されたことにより、参加者も増える予感がします。

ごみゼロ運動では、散乱ごみは減少しましたが、犬・猫の糞害に抗議する声が聞こえてきます。

このような地域の行事に参加することで、隣近所の輪を広げ、いざというときのコミュニティの力を培っていかれたらと思います。

撮影場所
根岸家長屋門

会長あいさつ



熊谷市自治会連合会
会長 小林 芳雄

昨年度、住みよい地域社会の実現をめざし自治会活動に取り組んでおられた5名が御逝去されました。あらためて御冥福と哀悼の誠を捧げます。

地域社会を取り巻く状況の変化のなか、震災後、人と人との絆の大切さが改めて見直され、自主防災組織の充実、地域コミュニティの活性化等、市民の取り組みが活発になってきました。そのような私たちの活動を大きく評価していただき、市の財政事情の厳しいなか、広報紙等配布委託料の増額をして頂きましたことに深く感謝いたします。

その評価、期待に応えるべく、熊谷市自治会連合会は、更なる地域力向上を目指し、各自治会の連携と情報交換、そして、地域の伝統を守りながら新しさを求めて取り組んでいきたいと思っております。具体的には、自治会ハンドブックの活用、自治会実態調査結果の活用、新任の自治会長さんの研修会、自治会の交流と親睦、そして、健康生活の実現を目指したグラウンド・ゴルフ大会の開催、先進地の視察研修を通じた自治会活動の在り方、行政との連携と情報交換等に取り組んでいきたいと思っております。

心の通い合う、安心安全な笑顔のある地域づくりの更なる発展を目指して取り組んでいきたいと思っております。是非、自治会長さんの御支援御協力をお願いします。そして各自治会の発展を心よりお祈りします。

熊谷市自治会連合会 会長・副会長の紹介

副会長		会長
江大妻北南西東西中中中	南里沼地地地地地地地地地	妻沼地区
2 1 3 2 1	区 区 区 区 区 区 区 区 区	
橋小茂飯野宗小嶋宮根出	本澤木塚口我部林田下岸井	小林芳雄
弘平一明雄功隆男夫雄司		

自治会長紹介

中央1区



出井会長

筑波		銀座		自治会名
曙町一丁目第1	曙町一丁目第2	曙町一丁目第3	曙町一丁目第3	出井 哲司
筑波第1	筑波第2	筑波第3	筑波第4	大久保順弘
筑波第5	筑波第6	筑波第7	桜木	小松原一起
中村	吉田	後藤	中村	氏家 昭三
佐藤	黒澤	内田	平	小林 哲嗣
祝子	秀夫	宏	辰雄	銀七高山
住吉町	末広	銀座第8	県営熊谷銀座団地	銀座二丁目
				銀座三丁目
				銀座四丁目

自治会長紹介

曙町・万平町		自治会名
曙町二丁目第1	曙町三丁目第2	林 真一
曙町四丁目	曙町五丁目	金沢 昌克
万平町一丁目	万平町二丁目第1	橋本 昌文
万平町二丁目第2	万平町三丁目第3	笠原 弘文
伊藤 友広	榎本 文岳	加藤 明彦
清水 忠良	伊藤 友広	篠田 健
原口 完治	伊藤 友広	笠原 弘文
村田 一昭	伊藤 友広	橋本 昌克
中村 俊夫	伊藤 友広	橋本 昌克
前中西西	伊藤 友広	橋本 昌克
中西西	伊藤 友広	橋本 昌克
中西西	伊藤 友広	橋本 昌克
後中西西	伊藤 友広	橋本 昌克

中央2区



根岸会長

宮町		自治会名
宮町第1	宮町第2	小沼 博靖
宮町第3	宮町第4	重竹 淳一
宮町第5の1	宮町第5の2	大塚 洋子
宮町第6の1	宮町第6の2	井田 里子
宮町第7の1	宮町第7の2	宮城 道明
宮町第8	宮町第8	加藤 六男
今井 徹雄	今井 徹雄	加藤 六男
細村 陽一	細村 陽一	加藤 六男

自治会長紹介

本町		自治会名
元町第3	元町第4	宇田川森一
元町第5	元町第6	中村 良造
本町中央	本町中央	神沼 広司
弥生町西部	弥生町西部	柿沼 政雄
墨江	墨江	細井 幹夫
栄町	栄町	細井 幹夫
本町中央	本町中央	細井 幹夫
赤沼 一三	赤沼 一三	細井 幹夫
日向 博也	日向 博也	細井 幹夫
田代 育廣	田代 育廣	細井 幹夫

連合組織を持たない自治会

加藤 恒博	加藤 恒博
丸岡 貞夫	丸岡 貞夫
中村 一郎	中村 一郎
清水 洋一	清水 洋一
石川 哲男	石川 哲男
根岸 一雄	根岸 一雄
松永 勲	松永 勲
島村 勝信	島村 勝信
面川 進	面川 進
高木 謙次	高木 謙次
田島 重雄	田島 重雄
青木 隆	青木 隆

中央3区



宮下会長

石原		自治会名
石原二丁目第1	石原二丁目第2	小堀 兼一
石原二丁目第3	石原二丁目第3	奈雲 達雄
石原三丁目第1	石原三丁目第2	飯森 清
石原三丁目第3	石原三丁目第3	持田 一郎
石原三丁目第3	石原三丁目第3	清水 進
池田 和典	池田 和典	池田 和典

市役所通りアンダーパスへの回顧

元町自治会連合会 会長 中村 良造

私達元町自治会連合会は星川を境に南北に広がったエリアで、元町第1から第6までの6自治会で成り立っており、全世帯数は240戸です。各自治会とも一年を通じて様々な行事がありますが、今回は長年地域に密着している市役所通りのアンダーパス（車道用地下道）について記したいと思います。

今から10数年前、アンダーパスが無かったころ、市役所から真つ直ぐ南へ向かった先のJR踏切は通称開かずの踏切といわれ、ドライバーたちは開くのをじっと待つしかありませんでした。また、皆このコースを避けるので、通行量は多くありませんでした。当時は道路のセンターに大きめのグリーン・ベルトがあり、点々としゆるの木があった風景が思い出されます。

定かではありませんが、アンダーパスが完成する10年ほど前でしょうか、前述の踏切改良工事の市説明会が元町地区で行われ、その青写真を見て驚いたことを思い出します。当初案は、お祭り広場を起点としてJR線路をまたぐ大陸橋を建設す

るといふものであり、もしかすると、勾配が急なため国道17号近くが起点になるかも……と地域住民は不安で日夜その話でもちきりでした。その後、熊谷市の御尽力のお蔭で、陸橋ではなく現アンダーパス工事となり、多くの市民は心から喜んでおります。

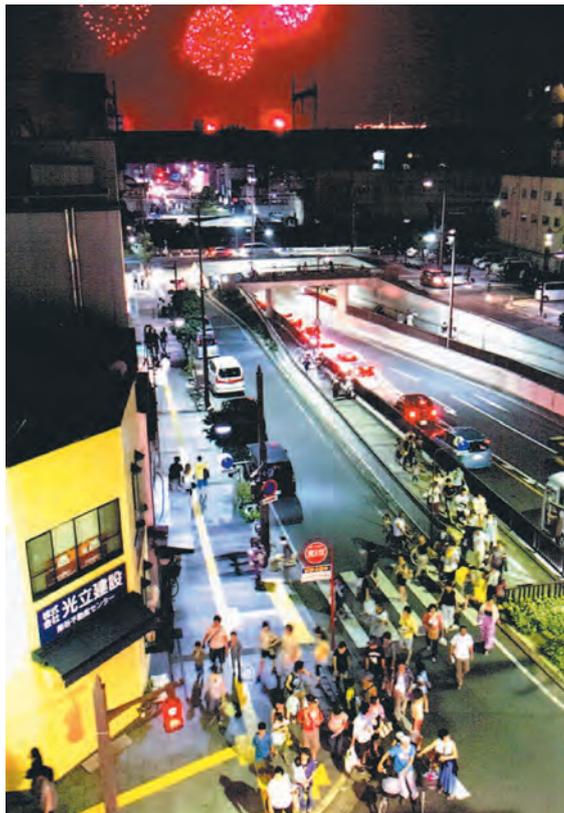
平成11年3月、5年間のアンダーパス工事がようやく完了し、また4年後の平成15年6月に久下新大橋が完成、これを機に市役所通りやその周辺は目に見えて車が多くなりました。春は桜、夏は花火見物で熊谷堤を目指してアンダーパス歩道は人で溢れています。良い環境に大勢の市民が集う、これこそ市と市民が願う理想ではないでしょうか。また車の流れが良くなったことで、救急車、消防車、パトカーがスムーズに現場に向かえるようになりました。安心、

安全な生活を送ることができるようになるのは深夜を問わず出勤する関係者の御尽力のお蔭です。自治会より厚くお礼申し上げます。

お知らせになりますが、7月1日より市役所通りからアンダーパスまでの左右道路に設置のパーキングメーターが廃止になり、一部市役所付近、郵便局前あたりに駐

車可能な白枠スペースがあります。お確かめ下さい。

時の流れとともに私達の身の回りも変わります。自治会も和と協調を第一に進んでまいります。



今夏のアンダーパスのにぎわい



アンダーパス

◆別府自治会連合会◆

会長 小林 隆

別府は熊谷市の西部に位置し、深谷市幡羅地区に接する世帯数2,573世帯の地域です。

江戸時代初期より東別府、西別府、下増田の3地区によって構成されていましたが、昭和45年に南部地区の土地画整理事業によって、別府一丁目、別府五丁目が新たに加わり、現在7つの自治会で構成されています。

今回は、そんな別府地区に伝わる昔ばなしの一つを紹介します。

別府清勝の妻・松女の悲劇

別府氏は忍城主成田氏等とともに熊谷地方を拠点とした中世武士団の藤原四家の一員として400年以上別府を支配してきました。

別府氏の活躍は「平家物語」や「吾妻鏡」その他多くの書物に記載されていますが、成田氏の菩提寺、上之・龍淵寺に伝わる「成田記」に以下の哀れな話が書かれています。(以下、成田記から引用) 別府長清の次男清勝の妻松女は、壬生帯刀の娘で、生まれながら非常な美人で見る者は誰でも心迷う程だった。

清勝の妻となつて仲睦まじくしていた所を豊臣秀吉による関東征伐の騒動が起こり、長男小太郎は忍に残り、次男小次郎清勝は父尾張守と共に小田原に出陣した。

松女は袖を絞つて別れ、夕より夜は泣き明かし、昼はひねもす想い暮らし、南に飛ぶ燕を見ては清勝の居る方へ行くとうらやみ、北に帰る雁を見て夫の手紙も来ないかと思ひ、早く戦いの終わる日を一日千秋と待つていた。春が去り、夏が来ても夫が帰つて来ないのを歎いていた。

別府の小姓浅山平司は、松女の美しさに魂迷い、折々恋文などを送つたが、松女は手にもしないので、平司の想いは募るばかりだった。

五月雨に時鳥一声鳴いたので、縁側に出て空をながめていると、平司がそばに来て、色々とかきくどいた。その中で、今は亡き人を慕うても仕方がないではないかと言つたので、松女は驚き、世に亡き人とは誰ぞという、平司はあなたには隠しているが、清勝殿は小田原で討死したと偽つて話した。松女は驚歎し、夜ふけ静まつてから、文を書き自害してしまつた。

女中は松女の自害した姿を見て驚き家中に報せ、色々介抱したがその甲斐もなかつた。

かたわらに書置きがあつたので見ると、清勝が討死した上は、この世に残すことはない。すみやかに自害したのは、日こそ替つて後れても、冥途の道は遠いので、急げば追いついて、死出の旅路に伴わんと書いて、

世の中のうきこそ今は嬉しけれ

恋しき君と死出の旅寝は

又浅山平司の事も書いてあるので、平司を捜したが、はや行方知れず、なきがらを埋葬して、卒塔婆一本の主となつてしまつた。

あわれむべし、松女は、一言の偽りを聞いてたちまち白刃に伏し、貞節の操をたてたが、憎むべきは浅山の不義の邪計である。

資料提供 別府公民館 高橋 勇氏



東別府館跡に建つ東別府神社



東別府館土塁跡



「東別府館址」標柱

新島右近の歴史

新島自治会 会長 井出 孝一

私の家は新島でも古く、江戸時代から住んでおります。今から20年前に土蔵の壁が落ちたため、大谷石の蔵に建て替えましたが、建て替えの際、蔵の中を整理していると古い書物が多く出てきました。古い和紙に新島村の地図が描かれたものがあり、「字、道祖神、大太白、芝符、箱根、小林、戸井下、屋敷」と書かれてありました。女房に話をする、執筆は大変だろうけど元氣を出して、「新島右近」の為にと背中を押され、ペンをとりました。

新島村は初め玉井村の地でしたが、文禄年間（1592～1596年）に新島右近によって開発されたため地名を新島と名付けられたと云われています。初めは天領でしたが寛文年間（1661～1672年）に旗本戸田藤兵衛の領地となり、明治維新後、大里郡の二村と幡羅郡の二村が合併し大幡村ができ、今日に至ります。

右近は当地の開発と併せて寺社の建立にも力を入れ、地内の中心部にある「新照寺」、「大雷神社」も新島右近の創建と伝えられています。

新照寺

宗派は浄土宗、山号は浄観山（松原院）、御本尊は阿弥陀如来、文禄年間に集落のほぼ中程に創立され、開基は新島右近、開山は玄良上人で中興開山は願挙上人です。新照寺には「一つ灸」が伝わっています。この灸は薬師伝と呼ばれ、新島村を



新照寺



大雷神社



板碑発見場所

初め、坪井村、久保島村、玉井村などから大勢の人々が通って繁盛したそうです。また、新照寺には、慶長年に没した右近の霊が眠っています。

大雷神社

大雷神社は、主神・別雷命わけいかづちのみことを祀る神社です。現在のように大雷神社と呼ばれるようになったのは明治に入ってからで、拝殿にかかる額（文政7年・1824年）には「大電八公宮」とあり、風土記稿にも「大電八公社、村の鎮守なり」と載っております。明治8年に村社になり、同42年、地内にあった稲荷神社、箱根神社、大巳貴社、道祖神社の4社が合祀されました。社号額にある「大電八公宮」の社名は鎮座地の小名で江戸期に大太白だいてんぱくの信仰があったことを示しています。その一つは安産の信仰で、もう一つは悪性の風邪とジフテリアを

治すものです。

板碑発見される

最後になりますが、最近、新島右近が新島を開墾したという証の板碑が発見されたことを紹介します。平成20年4月11日午後2時40分頃、新島家、外堀農業用水工事中、地上より約60cm下の川底より発見されました。板碑は北向きに伏せてあり、重さは10kg程でした。

私は、歴史というものは、人間が作りその名を後世に残し、残された地域の人々が教訓として後世に語り継がれてゆくものと確信しております。今後も地域の人々とともに地域資源を守り継承しながら、地域コミュニティの輪を広げていきたいと思っております。

平成25年度熊谷市自治会連合会総会

5月23日(木)、大里生涯学習センター「あすねっと」において、自治会長約200名の出席のもと、熊谷市自治会連合会総会を開催しました。

総会では、小林会長があいさつを述べた後、肥塚雀宮自治会本間会長が議長に選出され、以下の議案が承認されました。

議題

- ・平成24年度事業報告及び決算報告
- ・役員選出(案)
- ・平成25年度事業計画(案)及び予算(案)



続いて、富岡市長及び新井正夫前市議会議長からご祝辞をいただき、永年自治会活動に功績のあった自治会長に対し、感謝状が贈呈されました。



編集後記

今年の夏は猛暑が続いた上に、ゲリラ豪雨が度々降るなど、様々な異常気象をもたらしました。9月16日には、熊谷市内に竜巻が発生しました。その被害の甚大さにより私達は自然災害の恐ろしさを改めて認識させられました。被害に遭われた方々に心よりお見舞い申し上げます。「ひろば」も第14号を数え、今号は特に各地区の特色ある歴史を詳しく知ることができました。これらの歴史を大切にし、地域をよりよくしていくためには、自治会活動を推進することが必要です。そして、この大切な地域の歴史を若い人たちに読んでもらい、受け継いでいってほしいと思います。

多くの方々に御多用の中御寄稿頂き、厚くお礼申し上げます。各自治会の発展と御活躍をお祈りいたします。

熊谷市自治会連合会副会長 野口幸雄

新任自治会長研修

6月26日(水)、本年度新しく自治会長になられた方を対象に、新任自治会長研修を開催しました。

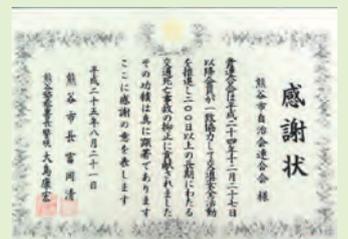


妻沼会場

研修には、93名の自治会長の参加があり、自治会制度、連合会の事業、自治会に関連する市事業などの説明のほか、「自治会活動の実態」と題して、自治会連合会の小林芳雄会長、宗我部副会長を講師として、自治会活動の状況をご紹介いただきました。

熊谷市内交通死亡事故「0(ゼロ)」日数200日達成 感謝状贈呈式

8月21日(水)、熊谷市立商工会館大ホールにおいて、熊谷市内交通死亡事故「0(ゼロ)」日数200日達成感謝状贈呈式が開催されました。自治会連合会の交通安全活動に対し、熊谷市及び熊谷警察署から、感謝状の贈呈が行われました。



訃報

謹んでお悔やみ申し上げますと共に
ご冥福をお祈り申し上げます。

- ◆龍前 二郎さん 鎌倉町自治会長
平成25年3月3日 逝去
- ◆吉野 一夫さん 日向下自治会長
平成25年3月14日 逝去